



みんな防災

～尼崎市難病団体連絡協議会～

尼崎市難病団体連絡協議会とは

【設立】 平成12年

【会員数】 20人

【目的】 難病患者やその家族が、お互いに励まし合い、助け合い、希望をもって生活ができるよう、医療と福祉の向上を目指して結成。

【事業】

- 相談会、電話相談
- 学習会
- 難病を理解してもらおうための啓発活動 など

「みんなで防災」について

【内容】 災害に関する講義や実習（全6回）

- 1.災害について知る
- 2.福祉避難所のしくみと役割
- 3.初期消火訓練
- 4.備品食品、備品薬品等の点検確認
- 5.応急手当実技講習
- 6.要援護者向け避難用具等の実装体験

【日程】 令和元年10月26日（月）～令和2年2月23日（火・祝）

【場所】 常松福祉会館、七松会館、尼難連事務所

【広報】 チラシの配布、市の広報など

【対象者】 立花七松地域の難病、障害者、高齢者などの
単身生活者を中心にその家族も含む。

【参加者数】 延べ40人 ※1回あたり平均8人

（うち、障害者2人、その他地域住民等5人）

「みんなで防災」について

【実施目的】

障がいのある人にとって必要な情報や課題を地域住民とも共有・認識することによって、自発的かつ効果的な避難と避難支援行動への理解が深まることを目標にした活動を行う。



第1回
令和元年10月26日(月)
尼難連事務所

研修会
講師:田中 淳司 氏

「みんなで防災」について

【効果】

病気を持つ高齢者の方が参加してくれたり、外で行った消火訓練には地域の親子が飛び入り参加してくれた。

事務所近くの地域住民を中心にと考えたが、自治会等への挨拶とか、いろいろと横の連携がとれていないとなかなか動いてもらえないため、参加者を増加していくには難しいところがあることに気づけた。

第3回

令和元年12月22日(火)

七松会館

心肺蘇生法等

講師:大森 晃司 氏

